

つながりも大切にしよう。

なぎさ小学校 五年三組 角屋 志帆

私は一九九五年一月十七日午前五時四十分におこった阪神淡路大震災の話を聞いて、改めて地震には気をつけたいかなーといけないなーと思いました。

今日聞いた阪神淡路大震災の話の中でこんな話がありました。水がでない、電気もつかない、ガスも使えない、たべる物もないというところまで話を聞きました。私は話を聞いて

思ったことは、地震は私達から大切な物やいろいろな物うばっていくんだなと思いました。けれども地震があつて大切なことに気づきました。それは神戸の町が前よりもっと強くなつたことと、町の人々のつながりや絆が深まつたことです。それはなせかというところ、本さんが話してくれた話の中に地震があつて、物の下じきになつた人をたすけてくれた人のほとんどが近所の人かボランティアの人だ。たといつていたからです。それと岸本さんが

初めは泣きながら行った水くみもなれてくる
と、おとなりのおばあさんの分もくんでい
たと言っていたからです、私はホランティアの人
たちや他の国の人から救える物資にきょう力を
してくれたりしたからみんなのつながりゆ
絆が深まったと思います。

岸本さんはネパールの人やいろいろな国の
人に自分の体験や人と人のつながりの大切を
伝えていきます、私も家族の人に今日聞いた話
や人と人とのつながりの大切を伝えたいです。